

厚生福祉常任委員会代表質問

質問

65歳以上の高齢者（高齢化率29・12％）特に80歳を超えた約770人、11月25日現在で116名の方が亡くなり、3組の双子を含め52人の出生から少子化に歯止めがかかりません。長野県の下條村では、安い若者向けの村営住宅を建設、中学生までの医療費の無料化などを実施して人口増に取り組んだ結果、出生率が03年から06年に2・04人、現在14歳以下の人口が村全体の17％を占めているそうです。

そこで、2期目にあたり厚生福祉に関して、次の2点について町長の所信を伺

います。

湯沢町は首都圏からも近く、50数棟1万5千室のマンションと2つの新幹線駅、4つの在来線駅、高速道路のインターチェンジ、国道17号線と交通体系に恵まれ、夏の緑、冬の白、豊かな清流と溢れる温泉と、まさに「一流の田舎まち」であります。その中で、「人が安心・安全に暮らせるまち」にするには具体的にどのようなことを考えているのか。

次に魚沼基幹病院の進捗状況とその内容について、伺います。

町長答弁

安心安全の町づくりは、子供からお年寄りまで、住み慣れた湯沢町で安心して安全な生活を送って貰いたいと願っています。健康で文化的な生活ができるようお願い、今年3月に策定した介護保険第4期計画や湯沢障がい者福祉計画に基づく事業展開等を行い、社会福祉に対する町民の意識を高めて頂いて行政サービスに努めて行きたいと思っております。健康は、一人ひとりの財産であり、町づくりの根幹を成すものと考えています。その為にはファミリー健康プランに基づく健康づくりの輪をさらに広げると共に健診事業を勧め、湯沢病院とも連携に努めていく。

また、魚沼基幹病院については、運営財団設立を年度内に行う準備を致しております。魚沼市長、南魚沼市長と共に知事の方に陳情し、早めの開院を要望してきています。知事は、27年度開院を目指しています。



質問者

半澤利貞

町長所信表明に対する

代

表

質

問



湯沢町保健医療センター